

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

京丹後市

## 2. 平成25年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について

支援区分	事業名・実施項目		
行財政改革推進枠	し尿処理施設整備事業		
事業着手前			
課題・現状	本市では計画的な下水道整備による水洗化を進めているが、未整備地域や供用開始ができていない区域のし尿処理並びに浄化槽汚泥の焼却処理については網野衛生センター、竹野川衛生センター、久美浜衛生センターで処理しなければならない。また、簡易水洗も増加しており、現在も最大処理能力に近い稼働を行っている。旧町時代に建設され老朽化が進むこの3施設を長期稼働させるための改修工事を実施し、施設の耐用年数を延伸する必要がある。		
事業概要	全市域水洗化整備完了までの間は最低でも現体制を継続する必要がある、環境基準に適合した稼働を安定的に行うため、し尿処理施設を修繕することで延命化を図る。 ・網野衛生センター整備事業 16,695千円 （オゾン設備、脱臭設備、乾燥焼却設備等整備工事） ・竹野川衛生センター整備事業 36,960千円 （水処理設備、汚泥処理設備等整備工事）		
期待される事業効果等	施設の長寿命化修繕工事により、少しでも改築時期を延伸することで、経費削減効果が期待できる。		
事業実績			
取組状況	・網野衛生センター整備（オゾン設備、脱臭設備、乾燥焼却設備等改修工事） ・竹野川衛生センター整備（水処理設備、汚泥処理設備等整備工事）		
主な実績数値 （出来高数値等）	網野衛生センターと竹野川衛生センターの2つのし尿処理施設において、効率的かつ適正な稼働を行うための改修工事を実施し、施設の長寿命化を図った。 網野衛生センター整備工事 16,695千円、竹野川衛生センター整備工事 36,960千円		
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	（左の理由）	し尿処理施設を修繕することで延命化が図れ、環境基準に適合した状態で安定的に稼働できている。

行革効果									
行革効果の考え方	<p>■ 網野衛生センターの建設経費 2,000,000千円、竹野川衛生センターの建設経費 2,500,000千円 … 合計 4,500,000千円</p> <p>① 長寿命化を行わない場合  (10年間の修繕費 402,000千円 + 10年後の建設経費 4,500,000千円) / 10年 = 490,200千円 / 年</p> <p>② 長寿命化改修を行う場合  (25年間の修繕費 1,341,000千円 + 25年後の建設経費 4,500,000千円) / 25年 = 233,600千円 / 年</p> <p>① - ② を差し引いた単年度あたりの行革効果額 256,600千円  ※ 長寿命化を行わない単年度工事費は長寿命化修繕工事の概ね75%で試算 (53,655千円 × 75% = 40,200千円)  ※ 修繕により概ね15年延命化させることを想定</p>								
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度				
行革前(a)	502,400	490,200	490,200	490,200	490,200				
行革後(b)	250,000	233,600	233,600	233,600	233,600				
行革効果(a)-(b)	252,400	256,600	256,600	256,600	256,600				

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。